健康友の会みみはら2017年12月会員数（世帯数）

会員数	37,667	（前月比）－267
郵　送	9,163	（前月比）－141
手配り	26,416	（前月比）＋192

協同基金到達額　2,555,538,000円（12/31現在）
［前月比 26,500,000増］
協同基金出資者数　16,574名（12/31現在）
いのちを守る助け合い募金額　48,689円（12/1～31）

ともfriend

2018 2 No.413

発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部 30円

気持ち新たに 安心して住みつづけられるまちづくりへ

大腸がん検診を受けましょう（3月末まで）

大腸がんは早期発見！

今年度も３月末までの期間中に法人全体で大腸がん検診を取り組みます。

早期発見でほぼ完治する大腸がん。皆さんの声かけ運動で、１人でも多くの命を守りましょう！

【大腸がん検診費用】

◎堺市在住で65歳以上は無料です。

◎堺市在住で40歳以上～65歳未満の方は300円の自己負担が必要です。

◎堺市在住で無料クーポンをお持ちの方は必ずご持参いただければ無料です。

●お近くの同仁会グループの医療機関にお持ち下さい。

耳原総合病院　２階　22番健診課
みみはら高砂クリニック
みみはらファミリークリニック
耳原鳳クリニック

同仁会グループ新年集会

聞き取り調査について講演する北海道勤医協の幌沙小里看護師長

社会情勢と同仁会の状況について報告する穴井勉専務

1月13日、同仁会グループ新年集会が４００人を超える参加者でおこなわれました。記念講演には、北海道勤労者医療協会苫小牧病院・看護師長の幌沙小里さんを招いて、高齢者の願いに寄り添うため、生活背景などを聞き取りする調査活動の実践についてお話をしていただきました。

講演では、気になる患者さんがいたらすぐに聞き取りをおこない、それを職員が共有することで細かな変化などの気づきにしていく活動をされていることや、７５４件の高齢者調査で、地域の状況を含めた分析が紹介されました。

認知症がある患者さんへの対応など、具体的な患者さんの事例も紹介され、非常にわかりやすい内容でした。同仁会でも一人ひとりの生活背景を集約し、必要なときに支援者との連携も含めた対応などの取り組みが、必要であると痛感しました。

穴井勉専務から、今の社会情勢と同仁会の状況について報告され、「誰のために、何のために、誰とともに」医療・介護をしていくのか、同仁会設立の原点に戻って地域の生活・健康などを守る取り組みをおこなっていく必要性が強調されました。

今年も、気持ちを新たに、みなさんとともに「安心して住みつづけられるまちづくり」への活動をおこなっていきたいと思います。

（事務局）

フルート演奏でオープニング

聴診器

昨年12月、みみはらホールで「フォルテピアノコンサート」が開かれました。楽器フォルテピアノは約３００年前に発明され、その後改良されて現在のピアノになったのですが、フォルテピアノそのものにも独特の音色があり、今も各国で演奏されています。コンサートにはフォルテピアノ演奏と共に声楽（ソプラノ、合唱）もあり、身近でこのような催しは大へん嬉しいことです▼音楽の話題を二つ、①日曜朝八時、ＮＨＫラジオ「音楽の泉」の解説者・皆川達夫さんは、大学で音楽史への道を進みたかったが学徒出陣を嫌い医学部を選びました。ところが在学中に終戦となり、当初の目的としたコースへと編入もできましたが、戦争のために大きな回り道をしました▼②戦後「うたごえは平和の力」の呼びかけで、うたごえ運動が全国に広がり、「青年歌集」も第10集を越えました。今年は70周年を迎え、スローガンに「うたごえは生きる力」を加えたのは今の社会の反映と見ます。歌は一人でも大勢でも、また道具不要、お風呂はさしずめ一人だけのステージ。「友の会」も、うたごえやカラオケのサークルがあります。大いに歌いましょう。歌うことは健康に役立ちます。

（八田兄一）